

(8)

政府成立後の日本政府要人と経精衛政要人の会談

REEL No. A-0723

0325

アジア歴史資料センター

秘

昭和十八年七月十二日

山本忠記生

政務局長

第一課長

第二課長

A6.1.19

請再回  
山本

山本君 總理員計公定ノ内話ニ依ル同部長  
お渡日 主要任務ニ関スル件

第二課長 陳部長 隨員水利署副署長許公定カ、官ニ為セル同部長訪  
日 主要目的ニ関スル内話要領何事御考査迄、通知告メ  
目下中國ノ食糧難ニ陥リ居リ之カ対策ニ付種々考究シ  
又施策実行ニ関シテモ貴國ノ御援助ノ下ニ鋭意努力中ナ  
ルコトノ御承知ノ通りナル処今般國民政府ニ於テハ蘇州  
近傍ニ在ル太湖ノ東岸リ、一部俗稱東太湖、其ノ面積ニ  
十五萬畝(約一萬四千四百八十八町三畝弱)ニシテ太湖邊

面積ノ十二分の一)ヲ有シ此ノ一帯ハ比較的水深淺ク湖  
水期ニハ平均一米ヲ出テサルヲ以テ之ニ排水工事ヲ施シ  
用水路ヲ構築シ水田トシテ粟<sup>粟</sup>生セシムレハ早作ニテ年  
五十萬石(約二十七萬四千石)ノ米ノ收穫アリ之ニ技術  
的ニ勝レ居ル貴國ノ田植法ヲ取入レハ更ニ増産ヲ圖リ得  
ハク本業具体化ノ為陳部長ノ渡日トナリタルモノニテ適  
テ今回ノ農業開拓事業・水利事業ヲ中心ニ視察シ學ハハ  
京都小津池ノ如キハ好個ノ參考地ニシテ早々實地ニ調  
査研究シ俾向本工事ニ要スル機械類ノ購入等ニ關シ貴國  
例ノ御援助並ニ関係業者トノ下交渉ヲ為スヲ主要任務ト  
ス

尚初本公官日、許署長ニ陳部長ノ最近ノ經歷ニ付質問セ

ルニ陳汪ト共ニ重慶ヲ脱出シ汪ノ個人的秘書役ヲ勤メ  
 國民政府樹立セシルヤ水利委員会委員長全國經濟委員  
 會秘書長ニ擧ケラレ本年二月交通部及水利委員会ヲ兼  
 的解消ヲ遂ケ兩者合体ニ新ニ建設部誕生スルヤ初代部長  
 (兼經濟委員會秘書長)ニ就任今日ニ至ルハ官進ハ居レ

備考

陳君慧 広東省台山県人 四十歳位

知育大學卒業シ經濟學博士ヲ取得シ革命前條

務委員公主任秘書タリシコトアル位ノモヽニ官

界ニ於テハ凡シタル職務ニ在リタルコトナキモノ

ノ如シ 人名録ニ記載シ格シス

外務省



秘

A 2. 2. 0. 9511  
A 7. 0. 0. 9144

請再  
山本

A 6. 1. 1. 9

昭和十八年八月十六日

調五 山本 書記生

重光大臣蔡培大使會談要報報告ノ件

本八月十六日午前九時半蔡培大使外務省ニ重光大臣ヲ來訪其ノ際會  
タル會談要領左ノ通

大使 國民政府ニ於テハ豫メヨリ泰國トノ間ニ使節交換ノ希望ヲ有  
シ居リタル處今蔡外相「ヴィチット」ノ貴國訪問ヲ機會ニ不取

致國民政府承認ニ對スル謝禮ノ意味ヲ以テ蔡へ特使ヲ派遣致慶回  
外相ノ意向打診並ニ其ノ方法等ニ付打合方訓令越シタルニ付貴大

臣ノ御幹旋願

大 蔡部長御熱知ノ通使節交換ニ關シテハ當該準備問題カ問題ト  
ナルヘキ處之ニ對スル貴國ノ取扱振如何

大使 在華準備問題ニ關シテハ何等訓令ニ接シ居ラス又如何ナル問  
題カ潜在シ居ルヤ等承知セヌ限ツテ外交使節交換トハ切放シ別個  
ニ本件ヲ取扱

大 蔡部長御熱知ノ通使節交換ニ關シテハ當該準備問題カ問題ト  
ナルヘキ處之ニ對スル貴國ノ取扱振如何

外務省

(日本標準規格 B5)

大臣 本件ニ關シ「ヴィ」外相ノ意向ヲ打診セラレタリヤ  
大使 先日晩餐會ニテ同席ノ機會ヲ得タルモ本國政府ヨリ訓令ニ接  
シ居ラザリシヲ以テ未タ本件ニハ全然觸レ居ラス

大臣 貴大使ニ於テ直接「ヴィ」外相ト話合ハレテハ如何  
大使 明後十八日箱根ヨリ「ヴィ」外相歸京ノ答ニ付其ノ際篤ト話  
合結果番細御話申上クヘシ

大臣 谷大使ヨリ最近汪主席始メ貴國政府首腦部ニ租界問題ニ關  
聯シ上海ヘ往復シ接收並ニ經營等ニ付御會談中ナル旨報告ニ接シ

タル處暫々問題トナリ其ノ都度不成功ニ終リタル租界回收力而モ  
其租界ノミナラス佛國領ニ相繼々色アリタル佛租界遂テ出度回

收セラレタルハ汪主席ノ大成功ニシテ特ニ當初南京ニテ其後東京  
ニ於テモ引續キ本件ニ關係シ居リタル本大臣トシテ甚ニ欣快ニ堪

ヘサル次第ナリ御序ノ節汪主席ヘ衷心ヨリナル祝意ヲ御傳達願度  
大使 國民待遇ノ租界カ完全ニ回收ヲ見タルハ之一重ニ閣下ノ御盡

大臣 谷大使ヨリ最近汪主席始メ貴國政府首腦部ニ租界問題ニ關  
聯シ上海ヘ往復シ接收並ニ經營等ニ付御會談中ナル旨報告ニ接シ  
タル處暫々問題トナリ其ノ都度不成功ニ終リタル租界回收力而モ  
其租界ノミナラス佛國領ニ相繼々色アリタル佛租界遂テ出度回  
收セラレタルハ汪主席ノ大成功ニシテ特ニ當初南京ニテ其後東京  
ニ於テモ引續キ本件ニ關係シ居リタル本大臣トシテ甚ニ欣快ニ堪  
ヘサル次第ナリ御序ノ節汪主席ヘ衷心ヨリナル祝意ヲ御傳達願度  
大使 國民待遇ノ租界カ完全ニ回收ヲ見タルハ之一重ニ閣下ノ御盡

外務省

(日本標準規格 B5)





大臣 上海ヲ中心トスル經濟問題ハ甘ク行キ居リヤ又物價ハ低落★  
 リヤ

大使 本件ハ仲々ノ難問ニシテ相當日數ヲ要スヘク一朝一夕ニハ  
 甘ク行カサルヘシ又總承布ノ強制買上ニ依リ今ノ處總承布ノミハ  
 大中ニ低落セルモ未タ一般物價カ之ニ伴ヒ低落ノ傾向ヲ示スニ  
 至ラサルモノノ如シ

大臣 自分ノ考ニテハ日本側ハ經濟問題等ニ關シ全力ヲ舉ケ居ルモ  
 之ニ反シ貴國側ハ熱意ニ缺ケ居ルカ如シ

大使 政府側ニ於テハ決シテ熱意ニ缺ケ居ラサルモ敢モ遺憾ナルハ  
 如何ニ箇ヲ吹ケトモ民衆カ騰ラサルコトナリ

大臣 政府側ノミナラス民間側モ不熱心ナリト思考ス

大使 現在ノ國民政府ハ國民黨系ナルヲ以テ民間有力者ハ黨派の關  
 係ヨリ合作ヲ欲セサルモノアリ利己的ニ合作セサル者モアリ極メ  
 ナ遺憾ナリ

外務省

(日本標準規格 B5)

大臣 之ニ對建スヘキ御意見如何

大使 何ヨリモ民心ヲ把握スル事肝要ナルヲ以テ衆望ヲ擲ヒ且相當  
 ノ地位ニアル者ヲシテ講演其ノ他ノ方法ニ依リ直接民衆ニ呼聲ケ  
 他面觀界モ完全ニ開放セラレタルヲ以テ是等觀界ニ立籠リ居リタ  
 ル財界民間ノ有力者ノ面子ヲ立テ汪主席自ラ出馬シテ感觸シ公式  
 ニ其ノ援助ヲ求メ又非公式ニハ政府要人カ私的ニ交際アル者ヲ個  
 キニ説得スルコトモ一策カト存ス

大臣 極メテ結構ナラン尙新政策ニ對スル反對ナキヤ

大使 今次總承布ノ強制買上ニ依リ一包三萬數千元セルモノカ一萬  
 元低落シ而モ内半金ハ一年內ニ渡シ残りノ半額ハ三年ニ分チ支給  
 スル等ノ爲一部ニハ反感ヲ抱キ居ル尙アルヘキモ左シタル心配ナ  
 キモノト存ス

大臣 〃、〃、〃、

大使 許修直ヨリノ書翰ニ依レハ度日ニ關シ華北政務委員會ト打合

外務省

(日本標準規格 B5)

二二二

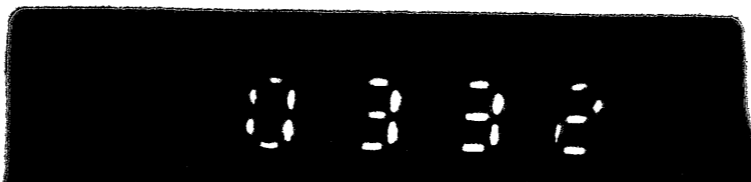
セタル處委員會議ニテハ何等異存ナク日本領ヨリ承諾ノ通知アル  
 ハ差支ナキ旨述ヘタル由ナリ  
 尚一行八十名ニシテ書、書家ノミナリ  
 大臣 本件ニ關シテハ北京土田參事官ニ話濟ミナルモ必妥ニ依リテハ  
 當方ヨリモ直接電報スヘシ  
 大使 軍機シテ御配慮願度シ  
 大臣 十二日ハ少シ早メニ十一時頃私邸ノ方へ御出テアリ度田會へ  
 御案内スヘシ  
 大使 閣下ヲ參上スヘシ

以上

外務省

(日本標準規格B6)

REEL No. A-0723





政務局長

政務局第一課長

政務局第二課長

昭和十九年二月八日

重光大臣蔡培大使會談要領

二月七日午後五時蔡培大使大臣官邸ニ重光大臣ヲ來訪シタル處特別ノ要件トテナク單ニ久瀧ヲ敘シ雜談ヲ交ヘ同五時二十分辭去セリ  
尙參考トナルヘキ點左ノ通

大臣 汪主席閣下ノ最近ノ健康狀態如何

大使 實ハ三笠宮殿下ヨリモ同様ノ御尋ネヲ蒙リタルヲ以テ目下照會中ナリ

要言圖

政一山本



昨日周隆庠ヨリ汪主席用トシテ「湯之華」至急轉送方電報アリ早速手配シタルカ右ヨリ蔡スルニ皮膚病ニ冒サレ居ルモノノ如キモ左シタル支障ナキ模様ナリ

(日本標準規格B5)

外務省

(政一山本)

尙今般夏公使(目下青島滞在中)辭職シ其ノ後任ニハ横濱駐在總領事鮎文任命セラレタリ鮎ハ早稻田出身ニシテ人物極メテ優秀ナリ

大臣 夏公使ノ辭任ハ何ソ特別ノ意味アリヤ

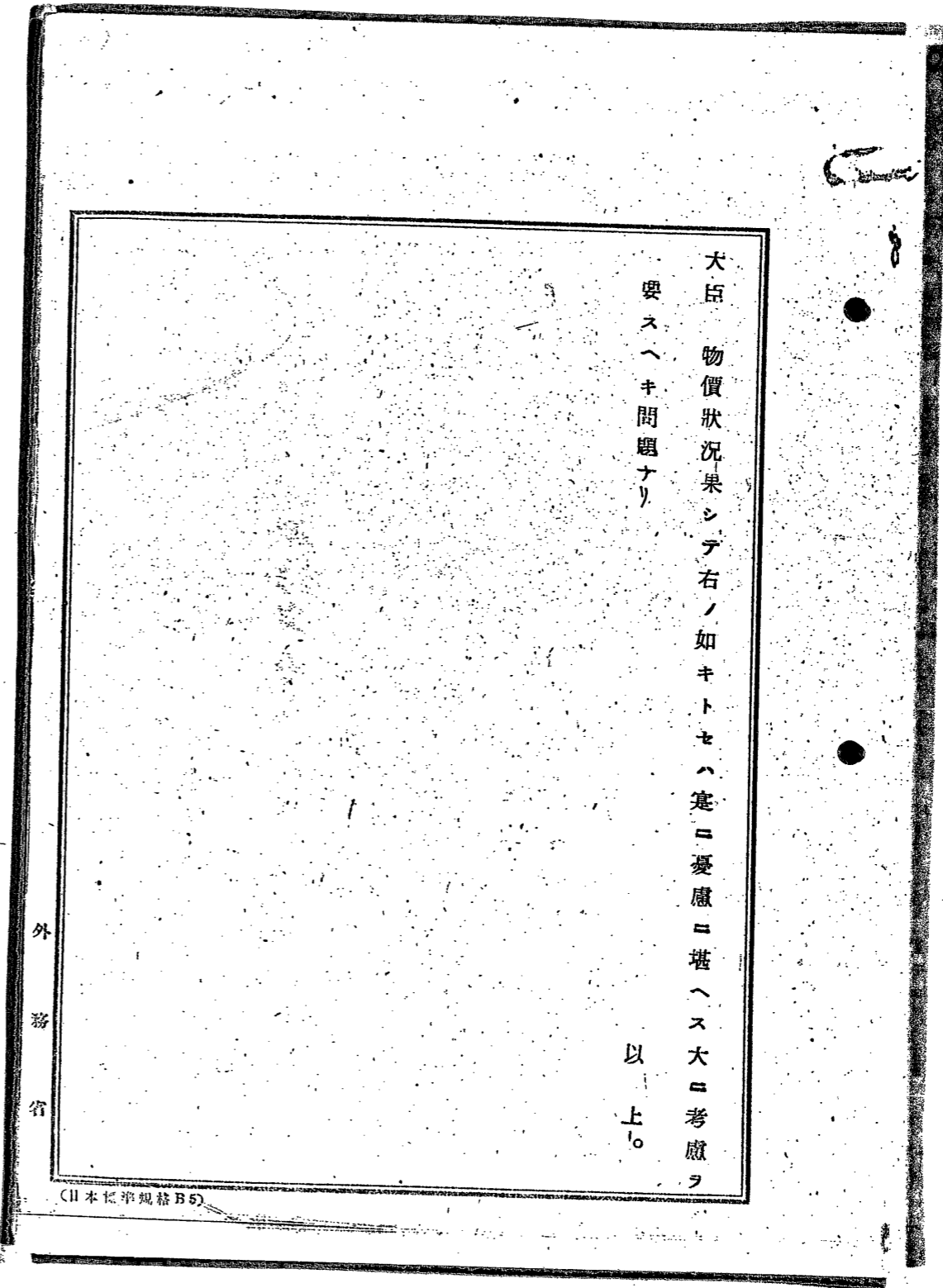
大使 悉ク青島海關監督ニ就任ノ爲ト認メラル

大東亞醫學大會ハ昨年東京ニ開カレタルカ本年ハ支那ニテ開催セラルコトトナリ居リ愈々開催ノ遲ニ至ラハ種々御力添相煩度何分宜シク御配慮ヲ請フ

又最近ニ於ケル上海ノ物價ハ狂騰スル一方ニシテ就中石炭ノ如キハ噸當リ三萬元(邦貨五千四百圓)ニシテ而モ入手困難ノ狀態ナリ

(日本標準規格B5)

外務省



大臣 物價狀況果シテ右ノ如キトセハ甚ニ憂慮ニ堪ヘス大ニ考慮ヲ  
要スヘキ問題ナリ

以上。

外務省

(日本標準規格B5)

REEL No. A-0723

0334

アジア歴史資料センター

秘

寫

國民政府

昭和十九年二月二十五日

政一山本書記生

重光大藏蔡培大使會談要領

二月二十三日午前十時蔡培大使本省ニ重光大臣ヲ來訪左記會談ヲ爲シ同十時二十分辭去セリ

記

大使 昨日汪主席ヨリ石渡顧問ノ大藏大臣就任ニ伴ヒ其ノ後任ニ小倉正恒氏ノ出馬ヲ得度貴大臣ノ御斡旋ヲ仰ク機副電アリ出頭セラル次第ニ付御分御配慮願度シ  
本件ニ關シ主席ヨリ直接東條總理官ニ石渡藏相ニモ電報ヲ以テ依頼セラル趣アリ

外務省

(日本標準規格B5)

大臣 出來得ル限り盡力スヘシ現内閣ニハ支那ニ關係セル閣僚ニ名アリ

大使 貴大臣、嶋田海相、青木大東亞相、石渡藏相ノ四人ナラン

大臣 然リ

大使 後宮大將モ

大臣 然リ參謀次長ニ補テラレタリ

大使 ハ小倉氏ニ面會セラレタリヤ

大使 懇願シタルモ引受ノ意ナシ

大臣 大使ノ爲シ得サルコトハ自分モ爲シ得サルヘシ

大使 最高顧問ノ役割ハ極メテ重要ニシテ一旦モ空位ノ儘放置シ得サルニ付是非共貴大臣ノ御力添テ仰度シ

外務省

(日本標準規格B5)

大臣 本件ニ關シテハ谷大使ヨリモ報告アルモノト思考セラルル  
 カ昨日石渡藏相ヨリハ話アリタリ何レニスルモ今一度貴大使ヨ  
 リ直接小倉氏ニ御勸メアリ度

大使 承知セリ 承諾ヲ得タル曉ニハ同氏ノ健康ニ付テハ充分  
 留意スヘシ

大臣 夏ハ何處カヘ轉地セラルル方宜シカラシ

大使 汪精衛カ懇望シ居ルハ單ニ國民政府ノ希望ニ依ルモノニア  
 ラスシテ國民ノ要望モアリ又自分モ豫テヨリ最適任者ト思考致  
 シ居リタル次第ナリ

大臣 然ラハ猶更三顧ノ禮ヲ要スヘシ勿論自分モ充分盡力スヘシ  
 尙小倉氏ノ健康ニ付テハ餘リ心配セラルル要ナカラン健康ハ括

外務省

(日本標準規格 B5)

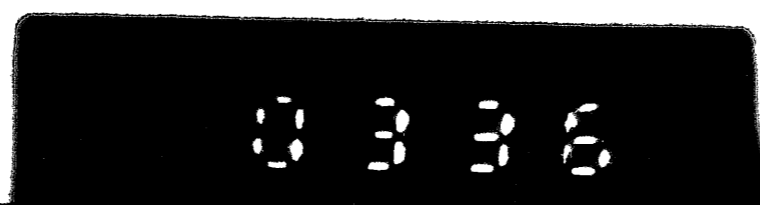
動スル間ニ作ラルルモノナリ

大使 汪主席ニモ傳フヘキモ小倉氏ノ健康保持ニ付テハ充分留  
 意スヘシ

以上

外務省

(日本標準規格 B5)



昭和十九年九月十二日

一頁二 山本

重光大臣汪時球會談要領

昨十一日午後四時四十分華北政府委員會實業總署督辦王時球、大臣官邸ニ重光大臣ヲ來訪問五時二十分辭去セリ會談要領左ノ通

記

汪 自動車事故ノ爲大變遷レ申舞アリマセン

大臣 御元氣ニ見受ケラレ結構ノコトト存シマス

汪 難有ウ御座居マス此度自分ハ王克敏ノ代理トシテ汪主席ノ見舞勞々小儀内閣成立ニ付組織ヘ御祝ヒテ申上ケニ参リマシタ

大臣 何時頃迄滞在サレマスカ

汪 豫定ハ十五日迄アアリマスカ然シ是非閣下ト辭シテ御話シ度

外務省

(日本標準規格B5)

イト存シテ居リマス自分ハ政治ヲ好マス只)口タケテスカ今次ノ戦争ハ全ク日支兩國ニトリ華國以來ノ大戦争ナリ萬一過ツタラ畏イコト乍、陛下ニ申舞アリマセン少シ率直テ實業カマソイト思ヒマスカ大東亞建設ノ同志トシテ何卒氣持タケテ汲々取り願度種業ニ他言致シマセンカラ閣下ニ於カレマシテモ忌憚ナク御意見ヲ伺ハサセテ敢テ度イト存シマス

大臣 隨大變遷有ウ存シマシタ

汪 餘リアリマセンノテ、、

大臣 王克敏サンハ御元氣テスカ

汪 何分ニモ老齡ノコトアスカラ成ル季節ニハ思ハシクナイ様ナス此ノ春モ少シ健康ヲ損ネテ居リマシタカ最近ハスツカリ恢

外務省

(日本標準規格B5)

復サレ朝カラ晩迄机ニ向ツテ熱心ニ政務ニ取リ付マサレテ居ラレマス

大臣 帝國「ホテル」ニ御泊リテスカ

ハイサウナス本日午後ヨリ肥後ヲ済マセ明治神宮へ参拜シテ参リマシタ自分ハ竹内次官ト懇話ナノヲ聞氏ヲ通シ一切ノ実會ヲ断ツテ實ヒマシタ自分トシマシテハ閣下始メ要路ノ方ト云ツクリ胸襟ヲ開イテ御話シテ度イト存シテマス雖ヒマシテ都合ニ依ツテハ決定ヲ延ヘシテモ差支アリマセン飛行機モ專用機ヲ参リマシタ何か御用カ御有リノ節ハ同次官へ御聯絡願ヒマス

大臣 北京ノ情勢ハ如何テスカ

外務省

(日本標準規格B5)

汪 北京ノミナラス華北全体カ表面ヨリ見マシタ時彼ヨリ好イ様ニ見エマスカ一歩中ニ踏込シテ見マスト食糧問題カアリマス

何ト書ヒマシテモ北京ハ消費地ヲ生産地ヲハアリマセン夫レニ又治安問題カアリ且ニ金融問題カアリ是等ニ絡ツテ政治問題カ生シ前途ニハ相當難關カ横ツテ居ル様ナリアリマス

大臣 是等ニ關シテ何か御意見ハアリマセンカ

汪 私共ノ考ハ杞人ノ憂ニ過キマセンカ自分ハ今日テハ華北ノ問題ハ華北ノミノ問題ヲナク又日支間ノ問題ヲモナク大東亞ノ問題ヲアルト最モ考シテ居リマス

大臣 共産軍關係ハ如何テスカ

汪 相當蓋ツテ居マスカ彼等ノ内部モ複雑ヲ極メ八路軍ノ看板ノ

外務省

(日本標準規格B5)

ミツ掲ケテ居ルモノモ居リマス  
 大臣 重慶ノ方ハ如何テスカ  
 汪 重慶モ仲々容易テナイト思ヒマス  
 大臣 汪主席ニ御會ヒユナリマシタカ  
 汪 醫師ハ最初面會ヲ避ケル様申サレマシタカ自分ハ王克敏ノ代  
 理トシテ來タノテアルカラ是非共ト御願ヒシ副陸軍ニモ談込  
 ンタ結果三分間ノ約束ヲ御會ヒ致シマシタ主席モ自分モ感情  
 的ノテ感傷的ユナツテ主席ヲ興奮サセテハト思ヒ入室ニ先  
 立チカメテ心ヲ静メテ參リマシタ主席ハ大分度セテ居ラレマ  
 シタカ血色好ク大體元氣ヲトテモ強ク我ノ兩手ヲ握ラレマシ  
 タ自分ヨリ王克敏ニ代リ御見舞ニ來タ旨告ケマシタラ主席ヨ

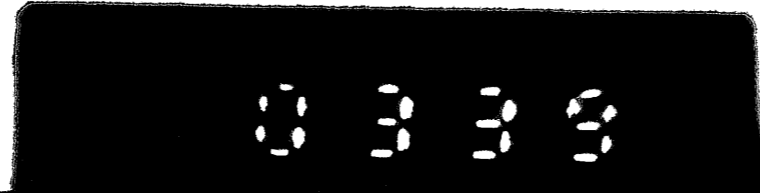
(日本標準規格B5)

外務省

リ華北ノ情勢ハ如何カト聞ハレマシタノテ自分ハ續テ順調ニ  
 進歩シテ居マスカ只一ツ華北全民衆ハ主席ノ愉快カ一日モ減  
 カナラシコトヲ感ヒ御指導ヲ御待ナシテ居リマスト御答へ致  
 シマシタ尙御別レニ際シ主席ハ度々出テ來ル様申サレ此ノ間  
 終始ユコニコサレテマシタ  
 大臣 夫レハ大體結構テシタ  
 今議會ニ於ケル私ノ應答説明ヲ御覽ユナリマシタカ  
 汪 新聞ヲ御見致シマシタ御説カ以前トハ變ラレタ様ニ思ハレマ  
 スカ、、、  
 大臣 新聞ノハ全文テアリマセンカラ一部御稿ケヌル様致シマセウ  
 樂ツテ來タトハ如何ナル點テセウカ

(日本標準規格B5)

外務省



汪 金文ヲ拜見シテマセンノテ或ハ私ノ感通ヒカモ知レマセン  
大臣 明後日ノ御招待一時間前ニ御越シ下サツテ辭シテ御話ヲ伺ハ  
サセテ戴キマセウ  
汪 テハ明後日又参リマス

外  
務  
省

(日本標準規格B5)

REEL No. A-0723

0340

アジア歴史資料センター



極秘

次官

政務局長

第一課長

第二課長

南東

係一今運行係

国民政府

秘密

昭和十九年九月十三日午前十時十分華北政務委員會臨時  
 會務兼總務課長汪時瑛氏、秘書長張敬芳氏、張敬芳氏ヲ常同  
 シ小磯總理大臣ヲ官邸ニ訪問シ正午迄會談ス岩松中將ハ願也  
 同席ス談話要領左ノ如シ  
 今中華北政務委員會長王克敏氏ノ命ニ依リ汪主席ノ病氣ヲ見舞ヒ  
 其復舊ヲ利用シテ閣下始メ貴國政府要人ニ敬意ヲ表スル爲上京  
 テ参リマシタ  
 ソレハ詔ヲ御越シニナリマシタ自分トシテハ極メテ謙以ノ深  
 又日本トシテ最も關心ヲ持ツ華北政務委員會ノ責任アル方々  
 ノ來訪ヲ受ケ親シク御話シ致ス機會ヲ得ルコトハ甚ダ欣快トス  
 ルトコロデアリマス汪主席ノ病狀ハ如何デシタカ  
 汪主席ハ普通宣敷イ様デアリマス日本ニ於テ治療ヲ受ケテ以來  
 今日ニ至ル迄日本朝野ノ示サレタル御親切ニ謝シテ深ク感謝シ  
 テ居ラレマス私ハ王克敏委員會長ノ命ニ依リ御見舞ヒニ來タリシ

(日本標準規格B5)

外務省

コトヲ述べ感謝致シテ参リマシタ  
 汪主席ハ一般狀況ハ如何デスカ  
 一般カヲ申シマスレバ華北ハ他ノ地方ヨリモ宣敷イトハ申サレ  
 マスガ華北ノ各地ヲ見ル場合ニハ満足ト云ヒ得ル所ガ無いノテ  
 アリマス華北ノ各地共ニ八路軍ノ工作カ行ハレテ居リマスカ  
 遼寧カ由來マセヌ八路軍ノ討伐ハ日本軍ノ手ニ依ツテ行ハレテ  
 居リマスガ將介石カ曾テ江西ノ共産軍討伐ニ際シテ彼等ニ對シ  
 テハ軍力三分以治力七分カ必要ダト云ヒマシタカ金ク共進リダ  
 ト思ハレマス我方モ亦政治力ヲ以テ共産黨ノ政治工作ニ對抗ス  
 ル必要ガアリマス

(日本標準規格B5)

外務省

總理 御説ノ通りデセウ延安政府ノ政治力ヲ民間ニ滲透シテ行ク力ノ強イト云フコトハ之ハ延安政府ガ「ソビエツト」ノ筆法ヲ用ユル爲メト云フヨリモ延安政府ハ中國人ノ手ニ依ツテ中國人ノ爲メト構シテ工作スル所ニ力ガアルモノト思ハレマス矢張り中國ノ政治ハ中國人ニ依ツテ行ハレナケレバ駄目デセウ從テ之ニ對抗シ之ニ打勝ツベク充分ニ施策シ充分ニ努力セラレンコトヲ希望シマス今ヤ戦局ハ苛烈デアツテ現戦局ハ必ズシモ日本ニ有利トハ申サレマセヌ而モ我等一億國民ハ必勝ノ信念ヲ以テ此戦局ヲ轉回シ主動的ニ着々施策ヲ實施シテ居リマス而シテ必ズ勝利ヲ得ルモノト確信シテ居リマスカラ北政務委員會ノ方々モ亦以場代ヲ以テ人民ヲ指導シ必勝ノ信念ヲ然ヘ上ラシムル様ニ努力致サレタイモノデス戦局上觀察シテ居ルト敵ハ我共榮國ヲ南北ニ切斷セントスル企圖アルモノノ如クデアリマス萬一南北ニ切斷セラレル場合アリトスレバ北ハ北、南ハ南夫々自立

(日本標準規格B5)

外務省

ツテ戦フベキ用意ヲ致サネバナリマセヌ斯ル場合ニ日滿華ガ北ノ一國トナツテ之ヲ處セネハナリマセヌ斯ク一國トナツテ之ニ當レハ少シモ恐ルルコトナキノミナラス之カ南北切斷ヲ不可能ナラシムル道デモアリマス此場合華北ノ任務ガ極メテ重大デアリマス而シテ華北ノ民衆ガ此道ニ邁進スルコトカ華北民衆ノ幸福ヲ招來スル道デアリ東亞ノ繁榮ヲ招來スル道デアリマス此意味カラ見テ來マシテモ日本ト眞ニ共死共生ノ關係ニアル次第デアリマス華北百民ノ間ニハ時局ノ前途ヲ悲觀スル者アルヲ免レヌコトト存ジマスソレハ獨ハ華北其他ノ百民ノミナラス我國內ニ於テモ現在ノ戦局ヲ見テ前途ヲ悲觀的ニ考慮スルモノアルヲ免レマセヌデシタガ過激最高戦争指導會議ニ於テ決定セル根本方針ニ基ク決戦施設ヲ長明公約シ又今回ノ議會ヲ進ジテ政府ノ所信ヲ中外ニ闡明スルト共ニ國民ニ戦局ノ真相ヲ傳ヘソノ憤起ヲ促シマシタノデ國民ハ一切ニ憤然トシテ起テ上リ益々戦意ヲ

(日本標準規格B5)

外務省

燃スニ至リマシタカラ今後ハ初心兩面ニ大活躍ヲ致スコトト思  
ハレマス此點ハ御安神下サイ又華北ノ政府要人始メ民衆ニモ之  
ヲ傳ヘテ一瞥觀意ヲ燃ヘ上ラシムル様ニ努力ヲ願ヒマス

外  
務  
省

(日本標準規格B5)

REEL No. A-0723

0343

アジア歴史資料センター

汪 能ク辨リマシタ今度日本ニ來テ見テ<sup>此</sup>感<sup>此</sup>テ實際ニ見テ大ニ感謝  
 シタコトヲ申上ゲマスト第一日本人ハ國民一體一個一個ノ人ニ  
 就テ見テモ真ニ敬意ノ充實シテ居ルコト第二一般民衆ノ生活ガ  
 少シモ平日ト變ラズ整然トシテ日常生活ヲ營ミツツアルコト第  
 三物質豊饒ニ富底マルコト第四上下ヲ通ジテ食糧増産ニ全力ヲ  
 擧ケ寸尺ノ土地ヲモ利用シツツアルコト以上ノ四點ヲ滿意シマ  
 シタ之カラ見レハ華北ノ民衆ハ文句ヲ云フ餘地ハアリマセヌ今  
 度北京ニ歸リマシタナラバ政務委員會ノ人々ニモ充分ニ之ヲ傳  
 ヘ民衆指導ノ上ニモ大ニ努力致サズバナラヌト思ツテ居リマス  
 華北テハ食糧問題ガ大キナ問題トシテ取リ上ゲラレテ居リマス  
 ルガ之ニ就テモ大ニ考ヘサセラルル所ガアリマス  
 我國ニ於テモ食糧増産ト國民生活ノ安定確保ト云フコトニ大  
 ニ力ヲ入レルコトニナツテ居リマス貴方モ亦同様テセウ之ニ對  
 シテモ出來ル支ケノ援助ヲ致スコトニ致シマセウ

(日本標準規格B5)

外務省

汪 誠ニ有ガタウ存ジマス本日「クレジツト」ノ契約ニ調印致シテ  
 参リマシタ感謝致シテ居ル次第デアリマス  
 總理 二億圓ノ「クレジツト」ノ契約ガ出來テ御目出度ウ存ジマス  
 御願ヒ申上ケマス夫レニ就テ特ニ御禮申上ケネハナラヌノハ今  
 今度貴重ナル贈ヲ多量ニ御贈リ下サツテ誠ニ有りガタウ存シマ  
 ス一ツ握手ヲ致シマセウ(有ガタウト云フテ總理ト汪督辦ト握  
 手ス)前刻汪主席ノ病狀ニ就テ御話シガアリマシタ汪主席ノ  
 病狀モ一時不安ノ時ガアリマシタ心配致シマシタ其後周佛海氏  
 ガ汪主席見舞ノ爲メニ來邦セラレシ際三四會見シテ充分ニ懇談  
 シテ遂ゲマシタ其際萬々一汪主席ガ不幸不起ノ場合ニ慮スベキ處  
 實ニ就テ萬端打合せヲ了シマシテ萬一ノ場合ガアリマシテモ南  
 京政府ハ微動ヲモ來サヌ支ケノ手ヲ打ツテ置キマシタカラ華北  
 政務委員會ニ於テモ此點ニ充分ニ安神セラレテ萬事其積リテ處  
 置セラレシコトヲ希望致シマス汪委員長ニモ此點御傳ヘ置キテ  
 願ヒマス

(日本標準規格B5)

外務省

汪 能ク判リマシタ必ス御説ノ點ヲ傳言シ吾等モ亦其積リテ行動ス  
ルコトニ致シマス

總理 元來日本ノ軍隊ナルモノハ他國ヲ占領スル爲ニ存スルノデハ  
ナクシテ自國防護ノ爲メニ存スルノデアリマス之カ爲メニハ進  
テ敵ヲ打撃コトモアリマスガ之ハ防護ノ必要上ニ出テクモノデ  
アリマス貴國ノ軍隊モ亦同様ト存ジマスソモソモ武ト云フ文字  
ハ戈ヲ止ムト書イテ武ト云フノデスカラ矢張り防護ノ爲メデア  
リマス日本ノ歴史ハ神武天皇以降二千六百餘年デアリマスガ古  
書ニ依リマスト約百七十九萬年ノ昔カラ續イテ居ルノデアリマ  
ス少シ古イ話デスガ其百七十九萬年ノ昔ノ日本ノ記録ニ依リマ  
シテモ日本ノ軍隊ハ防護ノ爲メニ存スルト云フコトガ判ルノデ  
アリマス從テ今日日本ノ百萬ノ軍隊カ支那ニ入込ンデ居リマス  
ガ重慶政府ノ抗日ガ無クナレバ此ノ百萬ノ軍隊ハ悉ク日本ニ引  
揚グルコトトナリマセウ此事ハ日本政府ガ内外ニ聲明セル所デ

(日本標準規格B5)

外務省

アツテ之ハ益ク間違ヒノ無イ所デアリマス其時トナレバ中國ノ  
コトハ中國人ノ手デ萬事行ハレナケレバナリマセヌ一方ニハ延  
安政府ノ手ガ各地ニ延ビテ居ルトスレバ之ニ打勝ツテ中國ノ政  
治ヲ行フ丈ケノ手腕ヲ練リ之ニ處スヘキ方法ヲ練メ充分ニ研究  
シテ置クコトガ何ヨリモ大切ナコトト思ハレマス

(日本標準規格B5)

外務省

汪 今重慶政府ヲ抗日ガ無クナツタトシテ日本軍ガ直チニ中國カラ  
 引揚クルコトトナレバ一縣ヨリ撤兵セバ其一縣ハ共產黨ノモノ  
 トナリ一省ヨリ引揚クレバ其省ハ共產黨ノモノトナルデセウ從  
 テ日本軍隊ガ中國ヨリ引揚クルコトトナリマシテモ其處ニ自ラ  
 技術上ノ問題ガ殘リマセウ重慶政府ノ抗日ガ無クナツタカラト  
 云ツテ直チニ全軍ヲ引揚クルト云フコトハ實行不可能ナナイデ  
 セウカ

總題 御説ノ様ナコトモアリマセウ新ル場合ニ中華民國ノ方デ此部  
 分ノ皇軍ノ引揚ケラ今暫ラク見合ハシテ呉レト云フ様ナコトガ  
 アレバ日本トシテハ中國領ノ爲メニナル様ニ其場合ニ應ジテ損  
 益ノ上善處スルコトトナリマセウ

汪 其通りデス之ハドウシテモ日本ノ保護援助ヲ受ケルノデナケレ  
 バ中華民國獨力ヲ直チニ戰後ノ局面ヲ收拾スルコトカ六ヶ敷イ  
 コトト思ヒマス私ノ今云フ様ナコトヲ云フコトヲ好マス中國人

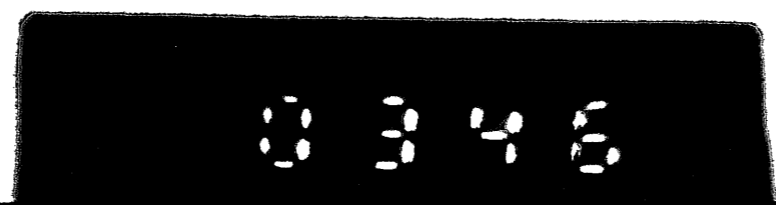
(日本標準規格B6)

外務省

モ多イコトト思ヒマスカ事實問題トシテ中國ノ爲メニ眞ニ其策  
 案ヲ計ラントセハ矢張り日本ノ援助ト保護ヲ受クルコトカ必要  
 デアリマス

(日本標準規格B6)

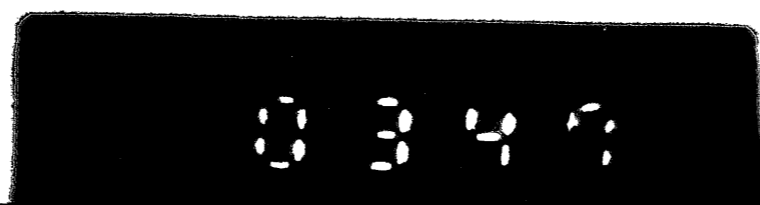
外務省



總理 其趣ハ詔ク判リマシタ之ハ其時ニ及ンデ相方充分ニ協議  
 スルコトガ肝要デセウ  
 汪 華日ハ實ニ親シク總理ノ御示教ヲ仰グコトガ出来マシテ誠ニ有  
 ガタク存ジマス歸リマシタナラバ總理御意見ハ必ズ王克敏其他  
 ノ要人ニ傳ヘテ總理ノ御趣旨ニ添ヒ得ル様ニ努力致シマセウ  
 總理 前ニモ申シマシタ様ニ我國ニ最モ關係深キ吾々ノ深キ關心ヲ  
 持ツ華北ノコトハ充分ニ知リタリ又我國ノ實情ヲ華北ノ人ニモ  
 知ツテ齎ヒタイト思ヒマスカラ今後再々御來訪ヲ願ヒマス又他  
 ノ要人方ニモ時々御出カケ下サル様ニ御傳ヘテ願ヒマス(斯ク  
 テ食堂ニ入ル)  
 午宴ニ同席セル者主客十人  
 汪 督辦、歐陽載祥、張國德、岩松中將(顧問)  
 外、陸、海、軍需、大藏各大臣、陸大使、田中書記官長、三浦法  
 副局長官、信田總務課長三秘書官、林出  
 (以上)

外務省

(日本標準規格B5)



和平

9771)

昭和十九年十月十七日  
 正北大臣江原虎之助氏に於て  
 十月十六日午後四時ヨリ同五時迄大臣官邸ニ於て及月夜八時二十分  
 ヲリ同十時迄三石町大臣私邸ニ於て江原氏に於て大臣ニ對して  
 長官左ノ如ク  
 今次ノ日ハ即公式ノモノデアリマスカニツノ任命ヲヒテ  
 マスオノ一ツハ文化の使命アリマシテ他ノ一ツハ自國の使命デア  
 リマス文化の使命ハ眞ニ之ヲ二ツニ分テコトカ世ナラス  
 爲ノ一ツハ長官三十八年(昭和二十年)ハ丁度孔子ノ二千五百  
 餘ニ當リマスノア之ヲ使命ニ孔子ヲ中心トシテ其時國運ノ進退ニ  
 タリ其時孔子の如ク自國他國ニ對スルコトヲ言ハ其時人ニ對シテ  
 各國ノ加入ヲ容シヤロイトモヘテ其ルコトデアリマス  
 此ハ其ノ時ニナツタコトアリマス其時孔子ハ其時國運ヲアリマス  
 カタニ之ニ對シタルヘキコトヲ言ハ其時孔子ハ其時國運ヲアリマス

(正北 山本)

大臣 準備ナコトト存シマス  
 院長 其ノ二ハ私カ中日文化協會ノ最初ノ發起人デアリ且又現ニ首  
 席常務理事デアル關係上之ヲ代表シテ日本ノ文化協會ヲ訪レ、現  
 時文化事業ヲ觀察スルコトト同時ニ非公式ニ中日兩國カ主體トナ  
 リ現在支那ニ在ル中日文化協會ト日本ニ於ケル日華學會トカ文化  
 振興會ト言ツタ様ナモノヲナクシテ大東亞文化協會ト言ツタ様ナ  
 モノヲ作り度イト思ヒマス  
 大臣 デハ是等ノ團體ハ如何サレル御考テスカ  
 院長 日文又ハ大東亞關係ノ文化團體ヲ一應解消シ新ニ打ツテ一丸  
 トシタ大東亞文化協會ナルモノヲ組織シ之ニ是等ノ團體ヲ包括シ  
 テ其ノ單純化ヲ圖リ大東亞各口ニ總會ヲ設ケ度イト考ヘテ居リマ  
 ス嘗ヘハ南京ニハ大東亞文化協會中國總會又益谷ニハ大東亞文化  
 協會泰國總會ト言ツタ様ナモノヲ設立シ度イト思ツテ居リマス  
 大臣 華北側ハ如何考ヘテ居リマスカ

外務省

(日本標準時B0)

REEL No. A-0723

0348

アジア歴史資料センター



院長 未タ華北側ノ意圖ヲ察シテ居リマセンカ日本カ御要同下サレ  
ハ別ニ問題ナイト思ヒマス我ニ中日文化協會ノ組織ニ於テモ北京  
ニハ華北總分會ヲ設ケテ居リマスカラ之ニ倣ツテ華北總分會トシ  
テモ差支ナイト思ヒマス

次ハ政治的使命テアリマスカ此ノ方ハ全面和平ニ歸スルモノト政  
府機傳ノ改革ト人專ノ刷新ニ關スルモノトカアリマス  
國民政府ハ當初和平政府ト言ハレテマシタカ全面和平カ後モ大ナ  
課題ノ一ツトサレテ居マシタ然シ今年ラ參戰後ニ於テ汪主席ハ最早  
直趨政權トノ和平ハ不可能テアルトシテ此ノ後和平工作ヲ打切ル  
ニ至リマシタ其ノ後主席ノ防日ニ依リ再ヒ全面和平カ路上ケサレ  
而モ此ノ工作ハ主席自身之ニ當リ能ノ者ハ一切之ニ與ルコトヲ許  
サレマセンテシタ處カ主席カ悲願サレテ以來讓公博及周錫海ノ兩  
人カ専ラ本工作ヲ擔當シ其ノ能ノ者ハ和平工作ニ從事スルコトヤ  
之ニ容認スルコトハ勿論許サレテマセン此ノ後ナ諒テ私ハ以府長

外務省

CH 本館 5)

路ノ一員テアリ今年ラ國民政府カ本工作ヲ如何ナル條件方法ニ依リ  
行ヒ居ルカ又如何ナル程度ニ進歩シテ居ルカ全然知ツテ居リマセ  
ン然シ今年ラ今次渡日ニ際シ二ツノ方面ヨリ全面和平ニ關スル日本  
ノ真ノ此下具體的方策ヲ確ムル機依頼サレマシタ

外務省

CH 本館 5)

REEL No. A-0723



大臣 夫レハドウ言フ方面カラデスカ  
 院長 其ノ一ツハ國民黨員ニシテ考試院副院長テアル繆斌カラテア  
 リマス繆斌ハ上海ニ無電ヲ有シ蔣介石側近者及何應欽等ト聯絡ヲ  
 有シテ居リ全面和平ニ關シ重慶側ト聯絡ヲ取り得ルコトヲ確信シ  
 テマス又彼ハ全面和平ノ爲ニハ兩者カ對立的テアツテハナラヌ又  
 此ノ爲必要アラハ何時ニテモ對立的關係打開ノ橋渡トナラウト申  
 シテ居リマス  
 或ハ既ニ御承知カトモ存シマスカ極メテ最近彼ノ所有シテ居タ上  
 海ニ於テ無電聯絡機關カ日本軍ニ依リ押收サレ同時ニ關係者カ  
 檢束サレ来タ釋放サレテ居マセン話ニ依リマスト現地軍ハ知ラナ  
 イ様テスカ日本政府テハ彼カ重慶トノ無電聯絡機關ヲ持ツテ居ル  
 事ヲ不知ツラ尾ルトカ言フコトテアリマス  
 大臣 繆斌サンノ聯絡機關ハ如何ナル名義テ何處ニ在ツタノテスカ  
 院長 實ハ私モ漠然トシタコトシカ存シテ居リマセン

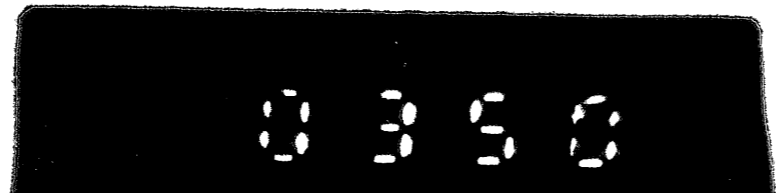
外務省

(日本標準規格 B5)

今一ツハ青年黨領袖タル曾琦テアリマス彼ハ全面和平ニ付テハ同  
 シク青年黨領袖タル趙毓松トカ國社黨領袖諸青來等ト一「グルー  
 プ」ヲナシテマス會ハ四川雲南廣西等ノ西南各將領ト聯絡ヲ有シ  
 全面和平ニ挺身センコトヲ望ミ且一翼ヲ擔ヒ得ルコトヲ信シテ居  
 リマス少シ話カソレマスカ非國民黨員タル趙毓松ヤ諸青來ハ嘗テ  
 ハ國民政府ニ在ツテ重要ナ地位ヲ占メテ居タノテアリマスカ漸次  
 排斥サレ遂ニ其ノ職ヲ追ハレルニ至ツタノテアリマス而シテ現在  
 國民政府内ニ於テ國民黨員ニ非ルモノテ重要ナ地位ヲ占メテ居ル  
 ノハ結局私一人ニナツテ終ヒマシタ此ノ様ナ譯テ私ハ彼等ト黨派  
 ヲ餘ククシテ居ルノテハナイノテスカ私ヲ兄貴分トシテ扱ヒ非國  
 民黨員タル彼等ヲ代表シテ政府内ニ於ケル唯一人ノ發言人タラシ  
 メン爲私ヲ擁立シテ居ル様ナ具合ニナツテ居マス  
 此ノ外政府内ニ於ケル全面和平ニ關スル同志トシテハ司法院長  
 溫宗堯監察院長梁鴻志等カ居リマスカ此ノ兩人モ極メテ熱心ニ日

外務省

(日本標準規格 B5)



本ノ具體的方策ト決心トヲ知り度ガツテ居リマス  
 大臣 和平運動ニ關シ何方具體的案ヲ維持チテスカ  
 院長 私ハ積極的ニハ自分カ全面和平ニ多少ナリトモ貢獻シ得ルナ  
 ラハ凡ル危險ヲ冒シ挺身之ニ當ル考テスカ萬一私等カ政府ニ留ツ  
 テ居ルコトカ全面和平ニ聊カナリトモ不利テアルナラハ何時ニテ  
 モ同志ト共ニ其ノ職ヲ抛ツ覺悟ヲ有シテ居リマス  
 次ニ全面和平ヲ爲ス上ニ長モ肝要ナコトハ憲法備ト總ニス自由ニ  
 交通通信ノ聯絡ヲ爲シ得ルト言フコトテアリマス然ルニ現在之ヲ  
 爲スニ二ツノ危險カ伴ツテ居リマス其一ツハ國民黨内ニ於テ  
 陳周兩人ヲ除キ重慶トノ聯絡通信ハ禁セラレテ居ルコトト今一ツ  
 ハ日本駐在軍及憲兵ニ對スルモノテアリマス從テ何等カノ方法ニ  
 依リ此ノ障礙ヲ與ヘルコトカ先決問題テアルト思ヒマス  
 尙意慶政府ハ日本ハ全面和平ニ行決意カナイモノト斷定シテ居ル  
 様テス

(日本標準規格 B5)

外務省

其ノ口實トスル所ハ日本ニ誠意アリトスルナラ日本軍ノ進軍ハ何  
 ヲ意味スルカ又和平地區内ノ惡敵ハ何ウシタモノカト言ヒ且日本  
 カ果シテ言葉通りニ實行スルカドウカニ付信實のテアル様テス  
 大臣 日本ノ復讐ハ敵次ニ巨ル証明テモ明確ニ證明サレテマス又  
 條約ニ於テ撤兵ニ進言及シテマシテ之以上確テモノハナイト思ヒ  
 マス次ニ日本軍ノ進軍ニ云々テアリマスカ是等ハ米英勢力ノ壓迫  
 碎ノ爲テアリマシテ改ツテ證明ヲ要シナイコトト思ヒマス

(日本標準規格 B5)

外務省

院長 只今申シマシタノハ重慶備ノ言分テス  
第二ノ問題ハ國民政府ノ腐敗ト專制的ナコトデアリマス主席カ兩  
京ニ居ラレタ間ハドウヤラ治ツテ行キマシタカ病氣ニナラレテカ  
ラト言フモノハ趨加進的ニ腐敗シ今ヤ其ノ頂點ニ達セントスル  
觀カアリマス即チ主席後日後ノ國民政府ハ眞ノ責任者ナク陳公博  
周佛海ノ兩人カ政治ヲ壟斷シ高官ハ僞レモ彼ラヒヤスコトヲコト  
トシ陳公博ノ如キハ主席代理、立法院長、上海市長、警察局長、  
第一師長ニ至ル迄一人ヲ兼ネテル有様テス  
南京總都ノ當初國民政府ハ一黨專制ヲ廢メ政權ノ開放ヲ唱ヘ廣ク  
人材ヲ求メ執(行)委員ノ如キモ三十名)中十名ハ國民黨ニ屬セサ  
ル各黨各派無黨無派ノ者ヲ擧ケ而モ其ノ殆トカ部長等ノ重要地位  
ニ就イテ居リマシタ然シ乍ラ前ニモ一寸黨レマシタカ其後一人選  
出シ二人退出ス様ニナリ今日テハ非國民黨員テ政府ノ重要地位ヲ  
占メテ居ルノハ益ク私一人ニナツテシマヒマシタ所カ此ノ致ケ月

(日本標準規格B5)

外務省

以來凡ル手ヲ用ヒ私ノ退出シ工作ニ務ツテマス其ノ一例トシテ江  
蘇省長ノ陳(其)ヲ南京ニ呼返スコトトナリ國府委員ナル役ヲ擔當マ  
シタカ此ノ役ハ名目丈テ實權ナク且俸給モ數千元ニ過キヌ爲メハ  
再ヒ內政部長ニ就クナラ鬼モ角サモナケレハ希冀セヌト聞ツテ來  
マシタ然シ內政部ハ最近禁煙關係事務ヲ管掌スルコトトナリ其大  
ナ收入アル爲梅恩平カ之ヲ手取スコトヲ承知シマセンテシタソコ  
テ陳周兩人カ協議ノ結果陳君ヲ院長ニ昇任セシムルコトニナリマ  
シタ所カ溫宗堯ハ新參乍ラ國民黨員テアリ且ハ孫文ト親交カアツ  
タ爲又梁鴻志ハ維新政府ノ首腦テ日本人間ニ知己カ多イノテ之ヲ  
罷免スルコトハ難シイ然ルニ自分ハ孤立的テアル爲私ヲ罷免スル  
コトニ決シマシタカ小林圃團長カ陳君ハ目下軍米輸入ノ爲年末ニ  
至ラネハ離任不可能デアルト言ハレタノテ一時停頓スルニ至リマ  
シタ之ハ單ナル取沙汰テハナク溫宗堯褚民誼等ヨリモ確ニサウ言  
フ話カアツタト言フコトヲ聞カザレマシタ此ノ概ニシテ何トカ

(日本標準規格B5)

外務省

シテ無黨無派テ殘ツテ居ル最後ノ一人タル私ヲ追出サウト本腹ヲ  
据エテ來タノテアリマス私ノ渡日ニ行テモ彼等ハ深甚ナル注意ヲ  
拂ツテルコトト思ヒマス

外務省

CH本館資料B5

REEL No. A-0723

0353

アジア歴史資料センター

又面白イコトニハ民國三十年（昭和十六年）ニ三ツ丁鐵砲台相生  
等ハ當時國民政府ノ要路ニ在ツタ無黨無派ノ者ニ對シ國民黨加入  
ヲ勸誘シ始メマシタ其ノ時私ハ「自分ハ曾テ孫文ヨリ入黨ヲ勸メ  
ラレタカ故アツテ加入シナカツタ然ルニ今日貴君等ノ勸メニ依リ  
入黨スルコトハ孫文ノ函子ヲ讀スコトナルカラ出來ナイ」ト言  
ツテ之ニ應シマセシテシタ汪宗賢ハ此ノ時入黨シ今年テ足掛四年  
ニナリマシタカ依然外憂敵ニサレテ其ノ專制ヲ廢止  
シ出シマシタノテ一月程前ニ思餘ツテ辭表ヲ提出シマシタ然レ  
後各方面ノ慰留ニ依リ漸ク留ラヌルニ至ツタ然レテ其ノ專制ヲ  
此ノ様ニシテ國民黨一派ハ新式專制的ニナリ就中參戰以來比ノ一  
派、之ハ更ニ陳公博、陳若愚林柏生ヲ主幹トシタ所謂公債法ト稱  
思平總裁強ヲ主幹トシタ周佛海派ニ分ケラレマスカ是等ノ少數ノ  
者ノミカ互ニ氣脈ヲ通シ權力ヲ握リ重要政務ニ參預シ他ノ黨ハ民

外務省

(日本經濟叢書B5)

長ト雖モ單ナル名目ノミテ何等實権ナク言ハントスルコトスラ言  
ヒ得ナイ情ナイ實情テアリマスノミナラス軍、政、經濟モ少政人  
ニ委ネラレ形式の報告ヲ行ハレナイノテ重慶收權テハ最高ノ  
國策ヲ決定スル最高國防會議ニハ五院々長カ當然出席スルコトニ  
ナツテ居マスカ國民政府テハ六レカ出來マセン陳公博ハ之ニ出席  
シテ居マスカ彼ノ説明ニ依ルト彼ハ立法院長トシテテハナク專  
委員會常務委員ノ資格ヲ出席シテ居ルノテアルト言ツテ居マス  
重慶收權テハ參政會ナルモノカアリ此ノ參政會ニ於テ各地各派  
派ノ代表カ其ノ意見ヲ述ヘルコトカ出來ル様ニナツテ居マスカ  
國民政府ニハ參政會カアリマセン此ノ二點ハ重慶收權ヨリ更ニ專制  
的テアルト思ヒマス  
待遇ノ點ニ付テモ院ニ依ツテ異ツタ取扱ヲシテ居リマス行政院ノ  
如キハ月俸ノ百數倍ニ達スル秘書補助ヲ受ケテ居マスカ其ノ他ノ  
院ノ者ハ全然其ノ恩典ニ浴シテ居マセン

外務省

(日本經濟叢書B5)

然ルニ物價ノ昂騰ノ一途ヲ辿リ總督官時ニ比ヘ五百倍乃至五千倍  
ニナリマシタカ公務員ノ俸給ハ僅カ十五倍ニシカナツテ居マセン  
結局收賄スルカ商賈ヲスルヨリ外迄カナクナツテ來タノテス斯ウ  
ナルト百姓ハ自ラ食フモノヲ作ルコトカ出來マスシ職工ハ賃銀カ  
上リ商人ハ零口「ホロイ」金儲カ出來マスノテ差シタル苦ミハア  
リマセンカ一審辛イノハ俸給生活者ト云フコトニナリマス換言ス  
レハ官吏職職員警察官軍人カ最モ辛イコトニナリ卒先軋ヲ垂ルヘ  
キ是等ノモノカ必ニ卒先惡毒ヲ吐クトイフ極ナコトトナリ遂ニハ  
收賄ヲ以テ恰モ官吏タルモノノ權利ノ如ク心得警察官ハ民衆ヨリ  
物ヲ強要シ兵士至ツテハ強奪ヲ敢テスルト言フ有様テ是等カ人  
心ニ及ス影響ハ寒ニ憂慮ニ堪ヘナイモノカアリマス叙例ヲ擧ケマ  
スト今日テハ何ヲスルノテモ必テカ賄賂トイフコトニナリマシタ  
上海南京間ノ一等乘車券ハ千二百五十元テスカ實際ニハ三等ノ切  
符ヲ入手スルノニ賄賂共三千乃至五千元ヲ要シ赤帽ノ荷働一僱ニ

(日本標準規格B5)

外務省

勤ル心付カ一僱ニ付百元ヲ要シ甚シキニ至リマシテハ郵便配  
夫ニスラ手紙配達ノ郵長粘信紙ノ心付ヲ與ヘナケレハ次同ノ郵便  
物ノ配達ヲシナイ様ニナツテシマヒマシタ新ウナリマスト心付テ  
ハナク賄賂トイフコトニナリマス然シ何ト言ツテモ收賄ノ最モ最  
シイノハ官吏テス其ノ額ニ於テモ今日テハ數百萬元數千萬元ト言  
フ風ニナリ而モ其ノ背後ニハ一部ノ日本軍人及日本浪人カアツテ  
之ト結託シテ居ルノデアマス又最近上海稅務署ヲ統ル四億元ノ收  
賄事件カ新聞ヲ賑ハシテ居マス變ツタノテハ北綏監主任張毅  
カ惡戯ノ限リヲ盡シタ爲五人ノ部下ノ軍長ニ連名テ訴ヘラレマシ  
タ處カ此ノ事アツテヨリ同モナク張ハ浙江省主席ニ昇任シ且張  
主任ヲ兼任シテ兵權ヲモ掌スル様ニナリマシタ同ク所ニ依リマ  
スト之ハ項カ局御海ニ莫大ナ賄賂ヲ使ツタ爲テアルト傳ヘラレテ  
居マス  
尙稟公博ハ廉潔政治ヲ「モット」トシテ居マスカ私ハ上海市  
府程貧官汚吏ノ弊ツテ居ル處ハナイト思ヒマス

(日本標準規格B5)

外務省

477

又最近ノ一現象トシテ軍政一元化ノ名目ノ下ニ省長ハ國民黨員タルヲ選シ且兵權ヲモ之ニ授ケル傾向カ現レテ來マシタ之ハ果シテ日本側ノ意向ニ依ルモノカ國民政府自体ノ發意ニ依ルモノカ其リ知リマセンカ其ノ狙ヒハ治安カ良ク治マレハ政治カウマク行ハレルト言フ時ニアル様テスカ自分ハ寧ロ反響ノ結果カ現レルモノト思ヒマス今ヤ人民ハ文字通り益炭ノ苦ミニ呻吟シテ居リマス即チ物價高ニ加フルニ官吏警察官兵士等ノ獨制掠奪ニ依リ其ノ生活ハドンドン底ニ叩込マレテ居リマス此ノ中テモ最モ愚蒙ナノハ兵士テアリマス南京ノ警衛團ハ俄然軍中ニ暴レテ居リマス此ノ様ニ依リ軍カ最近盛ニ軍火ヲ脅迫シテ之ノ要求ト「タイヤ」ヲ要求シテ人オ膝下ノ南京ノ復) 復軍スヲ此ノ様ニ依リ地方軍ニ至ツテハ復像ニ類クナイノテアリマス此ノ意味ヨリシテ人民ヲ壓迫シ擧グテ奪トシ易イ省長ニ更ニ軍權ヲ授ケルコトハ危險此ノ上モナイコト

外務省

(日本新聞社B5)

昭和十九年十月十九日

(政二山本)

重光大臣、江亢虎考試院長第二次會談要領

江考試院長前同會談ノ際ナセル約ニ隨ヒ本十九日午後五時大臣官邸ニ重光大臣ヲ來訪左記會談ヲ爲シ同六時五分辭去セリ

記

江院長 今次訪日ニ際シ少シ許リノ物ヲ用意シテ参リマシタカ上海飛行場テ重量ノ關係上下サレテシマヒマシタ丁度持合セノ量ト録カアリマシタノテ若ク失禮テアリマスカ御笑納下サイ支那テハ古來湖筆微墨ト申シマシテ湖南ノ筆ト安徽ノ墨ヲ最上ノモノトサレテマス

大臣 結構ナモノヲ有ラウ御座居マシタ喜ンテ頂戴致シマス尙先日御話ノ件要路ニハ大体御傳ヘンテ置キマシタ南京ニ御歸任ノ後モ御意見カ御アリノ節ハ遠慮ナク谷大臣及矢崎廣田ニ御話シ下サツテ充分ナル意見ノ交換ヲナサツテ下サイ

外務省

(日本新聞社B5)



江院長 谷大使トハ今迄モ數回ニ亙リ色々ト御話ヲ致シマシタカ矢  
崎顧問トハ全然機會カアリマセンテシタ何卒大臣閣下ヨリ御紹  
介ト御口添ヘ下サル様切ニ御願ヒ致シマス  
總理ニ御目ニ掛リマシタ處本閣中將ヲ御紹介下サレ同中將ヨリ  
御招待ヲ受ケマシタ席上ニハ安岡サンモ見エテマシテ相當突込  
ンタ質問アリ私ヨリ全面和平ト南京政府ノ改革ニツキ大體ノコ  
トヲ御話シシテ置キマシタ

大臣 夫レハ結構デシタ

江院長 先日御話申上ケマシタ件ニ付具體的ニ如何ニスヘキカト  
言フコトニ付キマシテ御意見ヲ伺ハサセテ蒙リ厚恩ヒマス

大臣 院長ハ南京政府ニ於テ重キヲ爲サレルノミナラス日本側ノ  
間ニ於テモ重キヲ爲サレテ居ラレルノテスカラ谷大使等ト隨時  
意見ノ交換ヲ爲サレルコトヲ吳々モ御願ヒシテ置キマス  
尙只今申サレマシタ具體的トハ譬ヘハ如何ナルコトヲ申サレルノテスカ

(日本に平電格B5)

外務省

江院長 其ノ一ツハ全面和平ニ歸スルモノテアリマシテ之ヲ實現ス  
ル爲メニハ三ツノ方法カアルト思ヒマス和平工作ニ從事スルニ  
當リマシテ政府人トシテノ立場ニ於テ爲スヘキカ或ハ政府ノ外  
部ニ在ツテ一般民衆ノ立場ニ於テ爲スヘキカト言フコトテアリ  
マス政府部外ニアツテ一般民衆運動ヲ起シ軍艦、延安、南京ニ  
對シ米軍ヲ國外ニ追ヘハ日本軍モ撤退スヘキコトヲ知ラシメ三  
者一黨ニ會合シテ和平ヲ謀セシムルコトモ考ヘラレマス  
又全面和平運動ノ先決問題タルヘキモ通信交通斷絶ニ歸スルモ  
ノテアリマス即チ如何ニセハ之ヲ便利且安全ナラシメ得ルカト  
言フコトテアリマス

大臣 一ノ點ニ付キマシテハ院長御自身ノ御考ヘニ依ルモノテア  
リマスカ現ニ政府ニ届ラレルノテスカラ政府人トシテ爲サレル  
ノカ好イノテハナイカト存シマス  
又先日ノ御話テハ感戴サンノ無線カ押ヘラレタサウテスカ何處

(日本に平電格B5)

外務省

ニ在ルノテスカ一應當ツテ見マシタカドウモ判然ト致シマセヌ  
 江院長 私ハ自分テモ何レカ好イカ其處迄考ヘテ居リマセンカ此ノ  
 問題ハ政府ニ止ツテ政府人トシテ和平運動ニ従事スルノト政府  
 ノ去ツテ一般人トシテ従事スルノト何レカ有效テアルカト昔フ  
 コトニ依ツテ決スルヘキテアルト思ヒマス只一ツ甲上ケラレル  
 コトハ政府内ニ在ツテ為ス時現ニ南京政府ノ實權ヲ把握シテ  
 居ル一二ノ者ニ果シテ眞ニ和平運動ニ従事スル意思カアルカト  
 言フコトカ問題タト思ヒマス  
 次ニ秘藏ノ無線連絡機體デアリマスカ私ハ直接關係シテマセン  
 ノテ好ク存シマセンカ何テモ舊僑界ニ在ル親戚ノ家ニ設ケテ  
 アツタサウテス機體ハ押收サレ親戚ノ者モ未タニ發見サレタ  
 タト言フコトテス  
 大 臣 所在カハツキリシテマスト謂ヘルノニ好都合ナノテスカ見  
 ニ角今一應以上ノ點ヲ手掛リニ請ヘテ見マセウ

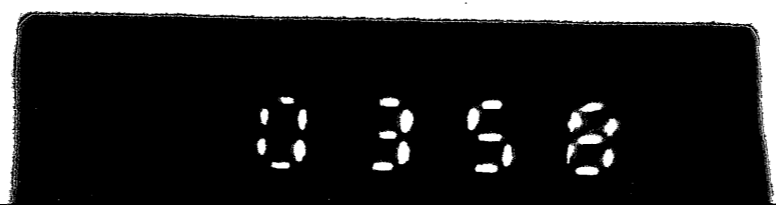
外務省

（日本標準規格）

江院長 謄紙ヨリ籍方情報局總裁及田中書記官長宛書翰ヲ托サレテ  
 参リマシタカ先方ヨリ未タ通知ナクドチラニモ御會ヒシテマセ  
 ン手紙ノ内容ハ存シマセンカ或ハ此ノ事ニ觸レテ居ルノテハナ  
 イカト想像致シマス尙謄ハ私ニ兩氏ニ御會ヒシタラ吳々モ上院  
 ヘ來ラレル様傳ヘテ欲シイト申シテ居リマシタ

外

（日本標準規格）



大 臣 御會ヒニナルコトハ甚タ結構ト思ヒマス好ク矢崎顧問トモ  
御聯絡ナサツテハ如何テスカ尙情報局長ノ上海行  
ノコトニ就キマシテハ何レモ非常ニ御多忙テスカラ實現ハ難カ  
シイト思ヒマス

江院長 代理人ヲ派遣シテ殺イテモ結構ト思ヒマス  
重慶トノ聯絡ニハ必ス通シ得ヘキ途カアルト信シマス

大 臣 代理人ハ即谷大使又ハ矢崎顧問テアリマス尙重慶トノ連絡  
ハ何人トサレテ居リマスカ

江院長 先日御話申上ケマシタ總斌ノ持ツテルモノト會瑞ノ持ツ  
テルモノテス

大 臣 韓へハ實際ニドウ言フ人達ト聯絡カアルノテスカ  
江院長 總斌ハ何應欽ト蔣介石ノ御近者ト聯絡カアリマス確カ何ノ  
息子ト纏ノ女カ結婚シテマシテ姻戚關係ニ在リマス會瑞ノ方ハ  
蔣介石ノ直系ニ屬シナイ西南各將領ト聯繫カアリマス

（日本外務省資料 B5）

大 臣 政府部外ニ於ケル和平運動ハ全面和平ニ對スル一般的空氣  
ヲ作ルノニ適シテ居リマス然シ乍ラ形式的ニハ南京政府ト重慶  
政權トカ手ヲ握ラナケレハナラナイノテス重慶政權ト言フコト  
ニナリマスト何應欽モ其ノ中ノ一人テハアリマスカ蔣介石カ其  
ノ主席テアリマスソコテ全面和平ニ對スル重慶側ノ意向ハ重慶  
政權首腦者ノ意向ツマリ重慶政權ノ意向テナケレハナリマセン

江院長 蔣一派カ和平運動ニ關シ南京政府ニ對シ抱イテ居ル意見ハ  
ツマル所見込ナイト言フコトニ歸着シマス然ラハ如何ニシタナ  
ラハ好イカト言フコトニナリマスカ夫レニハ二ツノ具體的方法  
カアリマス其ノ一ツハ從來通り日本カ南京政府ヲ之ヲ抑シ或ル時  
期ニ於テ撤兵ヲ通告シマス南京政府ハ直ニ重慶政權ニ對シ和平  
要求救國救民ノ立場ヨリ無條件ニテ南京政府ヲ引渡スコトト和  
平地區内ニ於ケル日本軍ノ撤退ヲ告ケ且非占領地區ニ在ル米軍  
軍ノ撤退ヲ要求スルコトテス

大 臣 ソレハ重慶政權ノ意向テスカ

（日本外務省資料 B5）

江院長 米英ノ軍隊ト日本軍カ支那ヨリ撤退シ支那領土内ニ於テ戰  
争行爲ヲシナイコトヲ前提トシテ且南京政府カ支那及支那民衆  
ノ爲無條件ニテ政府ヲ護ルト言フコトニナレハ重慶政權ハ決ツ  
ト出テ來ルト思ヒマス

大 臣 イヤ重慶政權カ出テ來ル來ナイト言フノテナク夫レハ重慶  
ノ意向トシテ誰カラ誰ヘサウ言ツテ察タノテスカ

江院長 膠城ハ現在重慶政權ハ今日日ニ日ニ暮ル米英ノ勢力ト米英  
ノ策動ニ依ル對共產黨關係テ相當頭ヲ擧マシテ居リ一日モ遠ニ

斯ル情勢ヲ打破シ)度イト苦慮シテマス

大 臣 夫レハ分ツテマスカ重慶側カ間違ヒナク出テ來ルト言フノ  
テスカ

江院長 膠城ハサウ信シテマス

大 臣 膠城ガ出テ來ナイカサウ信シテ居ル文テハ歐目ナノテスカウシテモ  
或ハ重慶カ出テ來ナイカモ知レマセンソレテハ何モナリマセン  
ソコテドウシテモ重慶側ノ意向ヲ知ラネハナラナイノテスカ

外務省

(日本標準規格B5)

江院長 其ノ物ニハ先日モ申上ケマシタ重慶トノ交通通信聯絡ノ自  
由確保カ先決問題ニナリマス今一ツノ具体的方法ハ民衆側ヨリ

和平運動ヲ起スコトテス即チ民衆側ヨリ日英米ニ對シ支那ニ在  
ル軍隊ノ撤去ヲ要請シ他面南京政府重慶政權及延安政府ノ各々

ニ對シ責任者ノ派遣ヲ要求シ適當ナル地點ニ於テ會議ヲ開キ新  
政府組織ニ關スル意見ノ交換ヲ行フコトテス之ハ民國十三年ハ

大正十三年一役祺瑞カ臨時執政ニ就任シタ際開イタ善後會議ニ  
倣ハウトスルモノデアリマス

大 臣 私ノ意見ヲ申シマス日本ハ現在ノ南京政府ヲ支那政府ト  
シテ承認シ之ト條約モ締結シテ居ルノテスカ、從ツテ南京政府ニ

話スコトハ支那政府ニ對シテノミナラス支那全民衆ニ對シテ話  
シテ居ルノテスカ、此ノ意味カラ申シマス何人カ主席テアツテ

モ其ノ様ナコトハ全然關係シナイノテスカ假ニ高一汪主席ノ後ニ

江院長カ主席ニナラレタトシマシテモ日本政府ノ南京政府ニ對

外務省

(日本標準規格B5)

スル態度ハ堅カナリトモ變ル様ナコトハアリマセン日本ハ飽迄  
 此ノ立場ヲ堅持シ進ンテ行ツテ居ルノテアリマス、此ノ爲南京  
 政府カ無力テハ困ルノテスカ建前ハ之ニ據ツテ居ルノテスソコ  
 テ日華同盟條約ノ締結ヲモ見日支兩國ハ互助平等ノ立場ニナツ  
 タノミナラス日本ハ更ニ進ンテ日本軍隊ノ撤去ニ進言及シテ居  
 リマス更ニ支那ニ於ケル競争ノ目的ハ米英侵略勢力ノ破砕テア  
 ツテ支那民衆ハ勿論意圖ヲモ目的トシタノデナイコト明ニ  
 シタノテアリマス、此ノ事ハ意圖モ好ク分ツテ居ルコトト思ヒ  
 マス斯ノ如ク日本ノ態度方針ハ先日モ申上ケマシタ様ニ似メテ  
 明確ナモノテアリ之以上明確ニスヘキ何物ヲモ殘シテナイノテ  
 ス誤言スレハ日本ハ言フヘキコトハ皆言盡シマシタ、今度ハ意  
 圖ノ意圖ヲ知り度イノテス、ツマリ重慶ノ意思表示ヲ俟ツノミ  
 テス重慶カ意思表示ヲシナケレハスル迄俟ツヨリ外ナイト思ヒ  
 マス

外務省

(日本標準規格B5)

次ニ全同和平ニ民衆ヲカスト言フコトテスカ切々和平進歩ハ  
 政府ノ外野又ハ内閣ニ在ツテ爲ストヲ門ハス和平進歩ヲ促進ス  
 ル上ニ於テ極メテ好イコトト存シマス只今ノ御話シノ様ニ民衆  
 カ主体トナツテ南京政府重慶政府迄進歩ノ代表者ヲ一堂ニ會  
 シ民ノ聲トシテ此ノ運動ニ從事スルコトモ結構テアリマス然レ  
 乍ラ今日假ニ上海ニ此ノ種會議ヲ開催スルトシテモ悉ク重慶モ  
 延安モ加シテイノテハナイテセウカサウシマスト願ルモノハ  
 單ナル和平進歩ニ奇異スルニ過キマセン然レシ之テモ皆何  
 テス何トナレハ中國ヲ救フト言フコトニナルカラテアリマス

外務省

(日本標準規格B5)

江皖長 竊ハ一トニノ案ハ何時ニ併行シテ促進セシムヘキテアルト  
 息ヒマス而シテ南京政府ハ連合政府ニ對シテ自分分  
 邊ノ爲ニシテ西ルノテハナク急ク支那人民ノ爲中  
 國ノ爲ニシテ  
 居ルコトヲ明示セバナリマセンソシテ連合ニ對シテ南京政府ハ  
 何時テモ其ルコトヲ表明スル必キアルト感ヒマス  
 大 臣 連合ニ上ケマシタニ本ハ日支同盟ニ對シテ固ニ直リ  
 聲明ヲ爲シ又條約ニモ明文カ定メラレテ居マス從テ連合政府ハ  
 連合力爲スヘキテアリマス右シテニカ東亞ノ前途ヲ憂ヒ中  
 國ヲ愛スルナラハ連合ニ對シテ其表示ヲ爲スヘキテアリマス  
 江皖長 連合ニ對シテ其表示ヲ爲スヘキテアリマス  
 下 聲明シマシタカ今日連合ニ對シテ日本ハ其政府ヲ相手トセ  
 ス加之ニ南京政府ト對シテ存存カアリ連合トシテハ之ト對シテ  
 交渉スルコトヲ童子上級シマセン若シ私ガ三船テアツタナラ私ハ  
 連合ニ對シテ日本カ撤兵スルカラ連合ニ對シテ其表示ヲ爲スヘキ  
 テアリマス

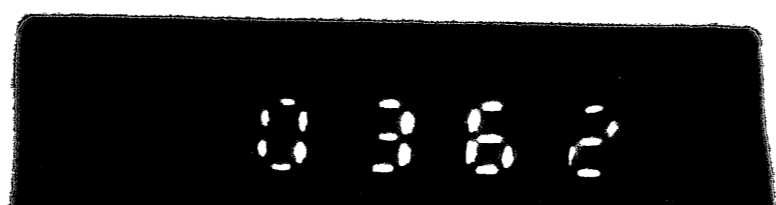
外務省

(日本陸軍省B5)

ト皆フコトヲ南京政府トシテ適合ツノカ其合點ケレハ南京政府  
 ノ代リニ別ニ臨時治安維持會ノ如キモノヲ組織シテ政府ハ其  
 テヤルカラ連合ヨリ出テ來イト言ツテヤリマス  
 大 臣 連合ニ對シテ其表示ヲ爲スヘキテアリマス  
 江皖長 南京政府ハ連合ニ各國ノ承認ヲ得テ居ルモノテアリマスシ  
 シテ之ヲ解散スルト言フ意未テハアリマセン連合ニ對シテ  
 南京政府ハ此ノ連合人テアリマシテ中ニ入ツテ其力ヲ台々テス  
 連合政府ニ南京政府ヲ讓ツテヤル爲ニハ吾々カ固テ行カネハナ  
 リマセンツマリ現在此ノ中ニ入ツテ居ル連合ヲ固サネハ連合ノ  
 事ヲ入レル難ニハ行カナイノト固シテアリマス

外務省

(日本陸軍省B5)



大臣 讓ル邊ラナイハ南京政府ノ考ニ依ルヘキテアリマスカ日本ハ先ニモ申シタ通り中國政府トシテ認メテ居ルノハ南京政府丈テアリマス政府部内ノ人間ヲ如何ニ扱ヘルカハ南京政府部内ノ出来事ト言フ譯ニナリマス

又南京政府ノ方々カ政府ヨリ身ヲ引キ出テ行クトカ出テ行カナイトカ言フコトハ問題テアリマセン其ノ前ニ重慶又府ノ人カ采シテ此ノ運車入ノ中ニ入ルカ入ラナイカト言フコトカ肝腎テス此ノ點カ分ラナイノテハ御話ニナラナイト思ヒマス

江院長 目下此ノ爲ノ工作ヲシ度イト思ツテ居リマスコレニ付ケテモ交通通信聯絡ノ便ト安全保置カ必要ニナツテ参リマス

大臣 懲罰サンノ無線ノ問題テスカ一才調ヘテ見マシタカソノナ音ハナイト言フコトテスモツト判然物折ト人カ判レハ調ヘ初イト思ヒマス

江院長 御話ノ途中テ是ニ心セトアリマセンカ行度取組ニ付カレテ

外務省

(日本標準規格 B5)

マスノテ時間ノ都合上之テ矢張サセテ減キマス同又日中時限シテマスノテ時間ト日サヘ御話定下サレハ又上シテ御話ヲ聞ケテセテ減キ度イト存シマス

大臣 何時ナリトモ御出テ下サイ

江院長 デハ失禮致シマス

(以上)

外務省

(日本標準規格 B5)

